

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所幸愛			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 20日		～	令和7年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 14日		～	令和7年 4月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の強みは、子ども一人ひとりの特性に合わせた支援プログラムを提供し、成功体験を獲得し、次につながるような支援を行なっている点です。子どもに寄り添い、信頼関係を構築し適切な支援をおこなえるよう努めています。	利用時の記録をもとに、支援方法を分析し見直しや改善等をおこない、質の高い支援に努めています。	子ども一人ひとりの支援を充実させる為に、専門的なスキルを培う為研修等に取り組んでいく。
2	強みを活かした支援の提供をする。	子どもたち一人ひとりの「ニーズ（強み）」を見つけて支援に取り込み、成功体験を獲得し次につなげることが出来るように支援する。	苦手なことでも強みを活かし自信へとつながる支援に努めていく。
3	利用者様、保護者様からの信頼度や満足度が高い評価を受けています。	利用者だけではなく、ご家族やきょうだい児への関わりに努めるよう職員に周知している。きょうだい児を含め子育てへの助言等ができるような体制を整えている。	保護者会等を通じて子育てについて悩みや支援について情報交換や意見交換をおこない家庭との連携を深め、子どもたちの成長をサポートしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングについて	専門的な職員（理学療法士等）の配置がない為、医学的な根拠を踏まえ、障害についての的確に助言等することが難しい。	新しく専門職を配置するか、ペアレントトレーニングでのプログラムを医学モデルから福祉モデルへと噛み砕く必要がある。
2			
3			